

平成27年度 第3回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年11月24日（火）15：00～17：00
- 2 開催場所 山北支所 会議室
- 3 出席委員 齋藤寅二、本間美喜雄、佐藤庄平、齋藤昭夫、板垣茂樹、富樫保晴、齋藤玲子、齋藤千栄、渡辺美紀子、加藤英人
- 4 欠席委員 佐藤憲一、富樫榮晴
- 5 出席職員 五十嵐支所長
(事務局) 地域振興課：小田室長、齋藤係長、齋藤主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第3回山北地区地域審議会 会議次第

・日 時 平成27年11月24日(火)

午後3時00分～

・場 所 村上市山北支所会議室

1 開 会

2 挨拶 (富樫会長)

3 議 事

(1) 日常生活の課題整理シートの取りまとめ状況説明 (資料1)

(2) 課題及び解決するための方向性の内容について (資料1)

(3) 提言書に載せる事項 (課題) について (資料1)

(4) その他

4 その他

5 閉 会 (佐藤副会長)

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
佐藤 憲一	<input type="checkbox"/>	齋藤 寅二	<input checked="" type="checkbox"/>	本間 美喜雄	<input checked="" type="checkbox"/>
佐藤 庄平	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 昭夫	<input checked="" type="checkbox"/>	板垣 茂樹	<input checked="" type="checkbox"/>
富樫 榮晴	<input type="checkbox"/>	富樫 保晴	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 玲子	<input checked="" type="checkbox"/>
齋藤 千栄	<input checked="" type="checkbox"/>	渡辺 美紀子	<input checked="" type="checkbox"/>	加藤 英人	<input checked="" type="checkbox"/>

会 議 経 過

1. 開会 (15:00)

事務局： これより、平成27年度の第3回山北地区地域審議会を開催したいと思います。

2. 挨拶

事務局： 最初に、富樫会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長： 皆さん、本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

今日は先般配布しておりました課題整理シートの状況を説明してもらい、その後の方針について話し合いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

事務局： ありがとうございます。

【会議資料について委員に確認】

それではさっそく3の議事に入ります。ここからは会長に議長を務めていただきたいと思います。

3. 議事

(1) 日常生活の課題整理シートの取りまとめ状況、(2) 課題及び解決するための方向性の内容について、(3) 提言書に載せる事項(課題)について説明

会 長： それでは、日常生活の課題整理シートの取りまとめ状況について事務局に説明をお願いします。

事務局： 【資料1について説明】

会 長： 各分野で一つの提言ということですか。

事務局： 数の関係もあり提言書に載せるのは各分野で一つずつという本庁からの指示です。すべて大切な事項ですが、あえて山北地域審議会として一つを挙げるということです。

委 員： 説明は十分に分かりました。同一と思われるような事項はそれぞれまとめて、どのことが地域の子どものために一番良いのかということをよく考えて、一つの問題としてまとめても良いのではないのでしょうか。

委 員： 提言の意義というのは、このような課題がありますということで良いのか、こういう課題があるのでこのようにして欲しいというところまで提言として挙げるのですか。

事務局： 課題として一番の問題を決め、③解決するための方向性を協議したいと思います。また課題のとらえ方は他の地域でも様々でした。

会 長： 皆様から出された課題とそれに対する方向性が資料に記載されています。それぞれ重みのある事項ではありますが、各分野から一つを挙げるということですので、どのようにして決めたら良いのでしょうか。

委 員： 例えば子育てについてはいろいろと課題が挙がっていますが、子どもが少ないから子育て世帯が少ないということだから、子育てについての課題はまとめて一つの課題として提言したら良いと思います。

委 員： 総合的に言えば子どもが減少しているということに尽きると思います。

このことについて根本的な原因をどうするか、減少していることに対してどういう対策をするかということだと思います。

委員： 最終的な目標はいかに山北の子どもたちを増やすかということですが、時間が要ることです。時間的優先順位をつけるなら、今いる子どもたちに他の地域と格差のない教育を受けさせることができるかということにウエイトを置いたら良いと思います。その後に、子どもたちを増やすことを考えなければならぬのではないのでしょうか。子どもたちを増やすということを議論すると、今いる子どもたちも沢山課題を抱えている中で、現実的な問題がおろそかになる心配があります。

委員： 学童保育所に関わっていて感じるのですが、山北は子どもが少ないため放課後、家に帰っても遊ぶ友達がいないので家で過ごすとか、また遊び場もなく友だちと遊ぶために親が車で送迎しないといけないとか、そういうことが山北は他の地区より多いと思います。

学童保育所に入るにはいろいろ条件がありますが、子ども同士で遊ばせたいという親のニーズも多いように感じます。今年からさんぼく南小学校で放課後子ども教室が週一回開催されていて、指導員が子どもたちを遊ばせています。学童保育所と放課後子ども教室を充実させて、友だち同士で遊べる環境を整えてあげたいと思います。

また、学童保育所も条件を満たさなくても、余裕があれば学童保育所に預けたい親に対しても柔軟な対応が出来れば良いと思います。他の地区では定員がいっぱいで対応できないかもしれませんが、山北は子どもの数が少ないので対応できるのではないかと思います。今あるものを進化させて充実させていけば良いのではないのでしょうか。

委員： 子育てを考えると、皆さんは健康健全に育ててほしい、また社会に出た時には地域を思いやる心を持った人に育てて欲しいと考えます。

私の地域で小学校の上級生から下級生の子ども達14人くらいが、連なって道路で追いかけてっこをしているところを見ました。危ないから集落センター付近で遊ぶように注意しましたが、もしも道路で遊んでいる子どもたちに車でも突っ込んできたらと思うと心配でたまりませんでした。子どもたちが安心安全に遊べる場所の確保が重要かと思えます。

事務局： 委員の皆様の意見をお聞きしますと、子どもたちの減少という漠然としたことでなく、今いる子どもたちの居場所の確保、施設の充実及び環境改善を図るという事を課題の集約になるのではないのでしょうか。

委員： 学童保育所に預ける条件は、市内どの地域も一律の対応をしなければならぬのかもしれませんが、各地域でそれぞれ条件や環境の違いがあるのだからそれを勘案してほしいと思います。地域審議会として、強く主張していかなければならないと思います。

事務局： それでは、今いる子どもたちの居場所、施設の環境改善を図るという事を(1)子育ての課題として良いのでしょうか。

会長： 地域の特性を活かした子育て環境を整えるという事で良いと思います。

- 委員：子どもたちの居場所を確保したとしても、広い山北の地域で子どもたちがその場所に行くための手段も課題になります。
- 委員：③に保育園制度の充実と学童保育ということが載っていますが、このようなことを中心にしながら肉付けしていき、地域の違いや山北の特性等は事務局が把握していると思いますので、そういうところを対応策の中に盛り込んでいってもらえれば良いと思います。さらに子どもたちが減少していったらどのような対策が必要なのかも盛り込んでいかなければならないと思います。
- 事務局：課題の方は把握できました。
解決するための方向性については、保育園制度の充実、保小中連携強化、学童保育、放課後子ども教室などの縦割りの解消、公園施設等の環境整備促進、遊び方講座などの開設、郷育の推進など6項目が解決のための方向性に該当するのではないのでしょうか。
- 委員：婚活の推進は載せた方が良いのではないのでしょうか。婚活しないと子どもは増えないです。
- 委員：子どもの数を増やすということは大変大事なことです、課題としたのが子育てということですから、今いる子どもたちを対象に考えなければならぬと思います。
- 委員：子どもの数を増やすことは根本的に大事なことです。ですから、今いる子どもたちの子育てのことで両方を課題にしても良いと思います。
- 委員：子どもの数が減少していることが大きな要因で、ここに挙げてあるような課題が起きているのだから、二つを合体させて山北の課題としたらよいと思います。
- 委員：(6)その他に人口減少のことが記載されていますから、人口を増やす、子どもを増やすという課題はその他のところで考えていって、山北地区の課題は、あくまでも今いる子どもたちのことを課題とした方が良いと思います。
- 委員：原因の半分以上が、子どもたちの減少ということが起因である。ですから二つを合わせて、子どもの減少が続いており、(1)子育てにあがっているような事象が起き、それに対する課題があるとまとめれば良いのではないですか。
- 委員：子ども同士や大人との関わりの場が多くある居場所があれば良いのではないかと思います。
- 事務局：提出期限もありますから、皆様の意見を集約して山北地区地域審議会の提言としてまとめさせていただき、皆様に確認を取りたいと思いますがよろしいでしょうか。
- 会長：家庭と学校、また地域はそれぞれが一生懸命にやっているはずですが、なかなか連携していないように思います。これに対して皆様良いアイディアはないのでしょうか。
- 委員：保護者もPTAも一生懸命にやっていると感じています。
- 事務局：一週間くらい猶予期間を設けますので、ここに記載されているほかにも何か良い意見やアイディアが思い浮かびましたら、お知らせいただきたいと思います。

- 委員：学童保育所、放課後子ども教室等、とても行政の縦割り感を常々感じています。垣根を取り払って一緒にできれば、より意義のあるものになるのではと思うのです。
- 委員：学童保育所と放課後子ども教室は役割が全然違うので、一緒にということは出来ないが、連携することは出来るのではないかと思います。
- 事務局：審議会で云々でなく、合同会議を設けて歩み寄ることが必要だという提言をすることで良いと思います。
- 会長：それでは次の(2)買い物について説明をお願いします。
- 事務局：【(2) 買い物について説明】
- 委員：私は、業者側からしたら誰がやっても市場が成立しにくい地域だと思うが、赤字になった場合、行政はどのように手を入れていくのかという意見を出したのですが載っていません。
- 事務局：単純な見落としです。申し訳ありません。ただいまの意見を一つ付け加えます。
- 委員：買い物に行くことが出来ない人を中心に考えていったら良いのではないでしょうか。
- 会長：昨年 of 山北地域買い物困難者対策アンケート結果では、約半数の方が買い物に困っているという回答でした。
- 委員：特に困っているのは下海府地区の人です。下海府地区にはお店もコンビニもありません。たまに親戚の人の車で買い物に連れて行ってもらっても、お礼をしなければならぬなどの気遣いがあるようです。
- 委員：山北地域内でも集落によって近くに店があるかないか等で、ニーズが違うと思うので、個々に聞き取りして集落の具体的なニーズを掘り起こした方が良いと思います。
- 委員：買い物に困っているという中には、買い物に行くことが出来なくて困っている人、近くのお店に行っても買い物をしようとしても必要なものがなくて困っている人があると思います。どちらも買い物に困っているという事になります。
- 委員：買い物をすることができなくて、健康が維持できない、快適な生活ができないという人を、困っている人と考えた方がよいと思います。
- 事務局：意見を集約すると、買い物についての課題としては、山北地域は買い物の場が少ない、品揃えが足りないという事と、業者が新規に参入するには採算性がとれないということが課題になるかと思います。
- 会長：では、次に移りたいと思います。交通に関して事務局の説明をお願いします。
- 事務局：【(3) 交通について説明】
- 委員：公共交通機関の利用が少ないということですが、これは利用する側からの意見ではなく、業者側や利用していない人の意見だと思います。利用する人が少なくても、利用している人は必要で利用しているわけです。また、利用しづらいという事も大きな要因になっていると思います。
- 委員：バスの運行時間を通学電車との時間に合わせるとか、料金の面で高額になるようなら市が助成するなど、また学生用の割引チケットを配布したら利用が増

えるのではないのでしょうか。

会 長： 学生は電車の発車時刻ぎりぎりに家の人を送ってきます。バスの運行を考慮しても、果たして利用が増えるか心配です。

委 員： 利用者の目線に立たないと、無駄になってしまうと思います。やはりバスとJRの時間調整は大事だと思います。

事務局： 府屋駅の朝2番目の電車の乗り口が2番線になったので、地区として元のよう
に1番線に戻してほしいということや、朝1番に乗る学生の送りの車が大変混雑するので、これに間に合うようなバスを運行できないかなど要望しましたが、その時点では無理だろうとのことでした。

委 員： バスを運行することになれば、例えば車で20分掛かって駅に着くとすれば、その倍の40分くらいは時間を見なければならぬと思います。そうすると、時間ぎりぎりまで寝たい子どもたちが、果たしてバスを利用するかが疑問です。

委 員： 夕方の忙しいときに、19時くらいの電車で帰ってくる子どもたちを迎えに行かなければならないが、帰りのバスがあれば助かります。

事務局： 早朝や夜の運行は、時間的なことで現実的にできないとのことでした。

委 員： 家庭内の意識も変わってきているのではないかと思います。

子どもたちも長い時間バスに乗ることを嫌うのではないのでしょうか。時代の変化に私たちはどう対応していったら良いのかと思います。

事務局： 交通の課題としては、既存の公共交通機関は利用しづらいし、時刻、料金面でも改定が必要だというようなことをまとめて良いのでしょうか。

会 長： 他に意見がないようなので、次に進みます。では、事務局の説明をお願いします。

事務局： 【(4) 教育について説明】

委 員： 教育とは学校教育かそれとも生涯教育をいうのですか。

事務局： 両方です。課題整理シートを見ると生涯学習に関することが多いです。

委 員： 村上地区には生涯学習センターなどの新しい施設があり、様々な講座が開かれています。山北地区は移動の問題があり学びたくてもなかなか参加できない不利な地域です。

委 員： 生涯学習の拠点施設は、旧山北分校を利用しようという動きがありましたが、耐震等の問題があり実現しませんでした。

会 長： 山北地区はいろいろな講座があったとしても、参加意欲が低い地区だと思います。

委 員： 人口が減少していく中、今後この地区の教育環境をどうしていくのかを考えて、それに向けて進めていかなければならないと思います。

委 員： 山北地区も、さんぽく会館とは別に「学習センター」という看板を掲げられるような施設を持つべきだと思います。その方が活動しやすいです。

事務局： 教育の課題としては、拠点施設の整備とソフト面が不足だということをまとめたいと思います。

会 長： では、次の行政について説明をお願いします。

事務局： 【(5) 行政について説明】

委員： 村上市一律ではなく、山北地区の特色を活かすために執行できる予算があれば良いと思います。

事務局： その一助となれるのが、まちづくり協議会だと思います。支所の機能アップ、支所長の権限の拡大、地区の特色を鑑みた裁量ということをもとめたいと思います。

会長： (6) その他について説明をお願いします。

事務局： 【(6) その他について説明】

委員： その他も1つ課題を選ぶのですか。

事務局： その他も1つ選ぶということです。(1) から (5) 以外のことを選んではどうでしょうか。

委員： 地域が衰退していくことが一番困ります。地域が衰退しないような施策をしてもらいたいと思います。

会長： 高齢者の事が記載されていますが、寝たきりではないが、買い物にも行けない、健康が保てないような一人暮らしの高齢者が増えています。

委員： 一次産業、観光産業は人口交流がないと衰退してしまいます。人口交流があれば、雇用創出が生まれて若者はもとより、退職された方も別分野でもう一度チャレンジしてみようという意欲が生まれると思います。60代はまだまだ若いし、70代80代でも元気な方は多くいらっしゃるので、そのような方々の力が発揮できる場所が必要ではないでしょうか。子どもたちの数も減少していく中で、高齢者のパワーが必要になっていくと思います。

人口交流という観点からも、一次産業、観光産業はこれから重要な役割を果たすのではないかと思いますので、推し進めていただきたいと思います。

委員： 大変大事な意見ですが、山北地域としては人口減少による集落機能の低下という事が一番の課題だと思います。コミュニティにしても高齢者を助けることなどにしても、集落機能が低下するとできなくなってしまいます。

委員： 各集落の5年後、10年後の人口の数字を把握できれば、人口減少の現実味がわかり危機感を覚えますから、数字を提示することも大切なことではないでしょうか。

事務局： 課題を集約すると、山北地域の人口減少による集落機能の低下として挙げたいと思います。

会長： 議事の(4) その他は何かありませんか。
無いようですので、次に移ります。

4. その他

会長： 4のその他で何かありませんか。

事務局： 本日、市長とのふれあいトークがさんぽく会館で開催されますので、是非ご参加ください。

事務局： それでは閉会のご挨拶をお願いいたします。

委員： 山北地域の課題は本当にたくさんあります。課題があればある程考えることがあり、今後の地域づくりに活かされていくと思います。今後ともよろしくお

願いたします。本日はありがとうございました。

5. 閉会 (17:00)